

第5回 日本ビール検定 (びあけん)

【1級問題 解答】

設問	解答	設問	解答	設問	解答
001	c	021	a	041	量
002	d	022	c	042	ドライホッピング
003	a	023	c	043	苦味
004	b	024	b	044	ホッホクルツ
005	a	025	d	045	日光臭
006	a	026	c	046	リキュール (発泡性) ①
007	b	027	d	047	エクストラ・スペシャル・ビター
008	a	028	b	048	バイエルン州
009	b	029	c	049	スイングトップ
010	d	030	b	050	チャーリー・パパジアン
011	b	031	b	051	ウィークエンド
012	b	032	c	052	カールスバーグ
013	c	033	c	053	チェコ
014	a	034	b	054	呉ビール
015	a	035	d	055	ペローニ
016	c	036	a	056	クラフティ
017	c	037	b	057	1994年
018	a	038	d	058	適正飲酒
019	d	039	c	059	灘コロンビア
020	a	040	c	060	那須高原ビール

061

■ 解答例1 (199文字)

大手メーカーのビールは歴史的に**ピルスナー**タイプを磨きこんだ日本人好みの味わいで、どんな料理にも良く合い、日常的な**コミュニケーション**・ドリンクとしての役割を担っている。クラフトビールは、**歴史**ある製法にこだわった上での新たな挑戦であり、多様な**スタイル**からは非日常的な時間や、料理とのマリージュの楽しみなどを演出している。両者が併存することで選択肢が大きく広がり、新しいビール文化が生まれていくと思う。

■ 解答例2 (191文字)

現在、**コンビニ**の冷蔵庫を見ると、大手メーカーのビールと一緒にクラフトビールも並んでいる。飲用シーンや気分で飲み分けられる時代になったのです。日本では、長年、大手メーカーの**ピルスナー**タイプのビールが親しまれてきました。しかし、ビールの**5000年**の**歴史**の中でピルスナーは誕生してまだ**170年**ほど。何が正しいかではなく、様々なスタイルがあるからこそビールは広く親しまれ、さらに発展していけるのです。

設問 001～040 各 1 点 / 設問 041～060 各 2 点 / 設問 061 20 点 / 合計 100 点